

1. 授業のねらい・概要

現代社会では多くの種類のリスクが存在しており、そうしたリスクは今後より一層複雑化・高度化していき、リスクがもたらす被害を予測することがますます難しくなっていくだろう。こうしたなかで、私たちが生活するうえで、リスクによる損失への対応に果たす保険の役割はますます重要になる。

この授業では、保険の基本的なしくみについて学修することを通じて、保険という金融商品や機能が、学生諸君のこれからの人生設計をより豊かなものにするために役に立つものであることを理解してもらう。

なお、この授業のアプローチとしては、保険を金融システムの枠組みのなかで捉えるというスタンスをとっている。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら、保険の基本的なしくみや保険に関する最近の諸問題・諸課題について説明する。

なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. くらしの中の保険	8. 生命保険商品
2. 保険の原理	9. 火災保険
3. 保険の歴史	10. 自動車保険
4. 現在の保険制度	11. その他の保険
5. 保険契約者の保護	12. 社会保険
6. 金融機関としての保険会社	13. 新しい保険の登場
7. 保険会社の経営課題	14. 私たちの生活設計と保険
	15. まとめと復習

4. 到達目標

保険の基本的なしくみを知り、現代社会における保険が果たす役割の重要性を理解することを到達目標とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を必ず復習して、疑問点などを明確にしておくことが望ましい。

6. 成績評価の方法・基準

①授業への取り組み姿勢（評価に占める割合：30%）、②課題等に対する内容（評価に占める割合：20%）、③定期試験・レポートの結果（評価に占める割合：50%）によって、評価する。

7. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時まで指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

8. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。